

2017国民春闘

3.16大阪総行動に1万人総決起



3.16総決起集会

大阪春闘共闘と大阪労連は、2017国民春闘で「賃上げと雇用の安定・中小企業支援で地域経済活性化を、安倍政権と維新の横暴を許すな!」と切実な要求実現をめざしてたたかっています。

3月15日の第1次集中回答日、大企業での回答状況は、内部留保には手をつけず、昨年よりも低い水準が相次ぎ、アベノミクスがまったく機能していないことが明らかになりました。また、政府・財界・連合による「過労死」を容認する時間外労働の上限規制案や、格差を固定化

し均等待遇とは程遠いガイドライン案が大きな批判を浴びています。大阪春闘共闘と大阪労連は、3.16大阪総行動を1万人規模で成功させてきた団結を力に、春闘後段のたたかいで、低額回答を打破し、最賃はじめ賃金底上げをめざします。アベ「働き方改革」の欺瞞を明らかにし、「森友疑惑」や「共謀罪」、そして憲法改悪を許さない共同と世論を広げていきます。粘り強く、要求を高く掲げて前進をかちとりましょう!

賃金の底上げを求めて、ねばり強く職場・地域から引き続き要求を高く掲げて前進へ

福祉保育労は、3月16日に「福祉保育労全国統一ストライキ行動」を3配置し、9分會35職場、389人がスト権行使に立ち上がり、なんば前宣伝や、堺市役所前宣伝、職場前宣伝などを実施し、「全産業平均より月額10万円低い賃金の改善を」「職員・保育士の大増員」など切実な要求を掲げ、府民の理解と協力を求める行動を展開しました。

大阪総行動大阪府連「指名スト・休暇行動」を実施。指名ストや休暇で44人の仲間が参加。意志統一集会を開催し、15日の回答指定日に出席された低額回答に対し、交渉を配置して「全力を上げる」等の当面の行動を確認。集会后、いすみ、パル、よどがわの各生協理事會へ、再回答促進要請行動と春闘宣伝に分かれて行動しました。

賃上げ・要求がかげスト権確立して決起



3月10日化学一般「春闘勝利決起集会」



3月13日民間部会なんば高島屋前宣伝

化学一般関西地本は、3月10日、エルおおさかで「春闘勝利決起集会」を開催し、90人が参加しました。現在、手取り収入が減少していることから、個人消費UPのために、組合員が自らの賃金構造維持と賃金底上げに全力で取り組むことを確認しました。

春闘勝利へ決起集会 街頭でのアピール宣伝

日、なんば高島屋前で春闘宣伝を実施。東中部会長(全国一般)の訴えを皮切りに、国労大阪、自交総連、JMITU、生協労連、福祉保育労、最後に宮崎事務局長(化学一般)が、それぞれの産業別の具体的な課題を示しながら17春闘めざすたたかいをアピールしました。

白衣の行動・決起集会 白タク合法化阻止へ

医労連は、自治労連・福保労・全国一般・ヘルパー労組連合会とともに、府内の地域医療・看護グループ・介護グループと労働局との交渉を61人の参加で実施。また、日本医労連中野委員長を講師に、「医療・介護の情勢17春闘学習会」を開催し、180人が参加。午後のパレードには「白衣の行動」として参加しました。



3月16日生協労連指名スト・休暇行動



3月16日福祉保育労なんば前署名宣伝



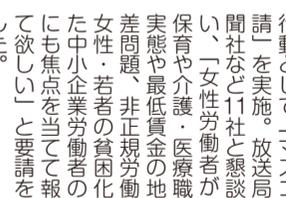
3月16日国労春闘統一行動



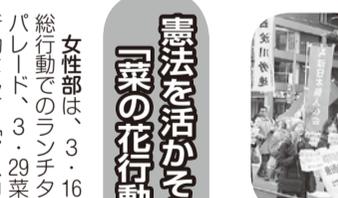
3月16日医労連白衣の行動

国労大阪は、職場から地域へと闘いをつくり広げるために、①一職場一要求運動、②各分會1名以上の組織拡大、③全職場でストライキ体制を確立することについて、意思統一し、闘いを展開。③16春闘統一行動に全組合員が総決起し、地域の仲間と共同して、闘いました。こうして、

た中で、3月23日に、36歳の労働者が連合から労に加入しました。自交総連は、「白タク合法化阻止」宣伝行動に呼び組み、大阪の主要駅5か所で「白タク」の危険性、白タク阻止運動への理解と協力を訴えました。「白タク阻止」宣伝では、「運転者は、いつても好きな時に働くことが可能」というのが新経済連盟のうたい文句ですが、労働者の空き時間をシェアするのがライドシェア「運転者が本業のかたわらで、休息もとらずに乗務するのは想像に難くない」と指摘。「ライドシェアを許せば、利用者が多大な犠牲を払うことになる」と訴えました。



3月16日女性部業の花行動



3月16日自交総連新大阪宣伝



3月16日ランチタイムパレード

憲法を活かそう 「花の行動」

最低賃金を引き上げよう

大阪労働局は最賃審議会労働委員の公正な任命を果たせ



3月3日最賃パレード



3月22日労働局交渉

3月3日夕刻に、大阪中之島女神像前で、「みんなで見守れ! 最賃パレード」めざせ15000人参加で行い、3550人が参加しました。その後、サウンドパレードを行い、「最低賃金いままぐあける!」「まともな暮らしを賃金払え!」とコールしながら最低賃金の引き上げを道行く人々にアピールしました。また、3月22日には大阪府地方最低賃金審議会労働者委員の今年の任命について、労働局交渉をおこないました。この間、最賃審議会の労働者委員は、大阪府の最賃額を決める重要な場でありながら、連合大阪からの推薦者のみで構成されており、大阪労連は排除され続け、任命根拠も明らかにされていません。最低賃金の社会的な重要性が再認識されている中で、公正な任命や専門部会の公開は府民に対する責任をともない、府民生活を豊かにしていくための審議会論が必要だと。労働局長が任命する委員が公人という立場をかまへ、正すべきところは正してほしいと、強く要望しました。